

2023
No.5

岡山理科大学 科学ボランティアセンター

科・ぼ・せ・ん News Letter

2023.12.2 発行

<https://ridai-svc.org/>



科学ボランティアセンター

「スタッフ会 新幹部紹介」

2023年10月から科学ボランティアセンター学生スタッフ会の幹部が新しくなりました！新幹部の8名から意気込みをいただいたので、ぜひ読んでみてください！

(ちなみにイラストは会計のさくらさんが描いてくれました。(*´艸`))

今後とも科学ボランティアセンターをよろしくお願い致します！ Editor:くるみん



【会長】
生物科学科 2年
かずは
皆で楽しく活動できるように
取り組んでいきます！



【副会長・副イベント総括】
応用数学科 2年
ひろざき
ボランティアを通じて新たな発見が
できるようにサポートをします！



【イベント総括】
基礎理学科 2年
やっちゃん
イベントの数を増やし、色々な
体験ができるようにしていきます！



【総務】
生物地球学科 2年
とつきー
みんなと一緒にイベントを
盛り上げていきたいと思ひます！



【会計】
応用数学科 2年
さくらこ
皆の助けになりたいなと思ひている
ので、なんでも頼ってください！



【広報】
生物地球学科 2年
りゅうや
万全を期して丁寧な SNS 運用、
その他広報活動に取り組みます！



【広報】
生物地球学科 2年
くるみん
色々な人に科学ボランティアを
知ってもらえるように頑張ります！



【備品管理】
生物科学科 2年
くまさん
皆が過ごしやすいように科ボラを
きれいにしていきます！

科学ボランティア実践 1 @科学博物館 結果発表！

6班 ポケモンを科学しよう！



優勝

・明るいテンション！実験の派手さ面白さ！最高でした！
 ・一つ一つのネタのクオリティーが高かったです。それをたくさん用意していて、全体をポケモンでまとめていると言うのもよかったです。子供を引き込むプレゼンテーションもできていた。

11/25（土）大学祭内で、400人以上の一般来場者を迎え、たくさんの笑顔をもらい、大きな達成感を得ることができました！

☆5点満点	1位	2位	3位	4位
総合	6班 (4.79)	5班 (4.45)	3班 (4.19)	1班 (4.16)
教員	6班 (5.00)	2班 (4.40)	3班 (4.17)	4班 (4.00)
学生	6班 (4.74)	5班 (4.64)	1班 (4.38)	3班 (4.20)

1班 ホバークラフト



・小さいホバークラフトを自分で作らせたり、大きいホバークラフトに乗ったり体験できるイベントが多くて良かった。
 ・大きなホバークラフトは力作でしたが、思いのほか大きな音が出てしまったので、改善が必要だと思いました。ただ、防音できるスペースで、うまく走行できていて良かったと思います。

2班 ふしぎな色水



様々な色水を用意していて楽しめました。アントシアニンで布を上手に染めることができていました。紅葉の色が酸・アルカリで変色すると言うのを紹介していて参考になりました。重曹を紹介する際に、ケーキなどを作るときに使うふくらし粉と言う紹介をすると良いと思いました。

4班 バスボムポート



・最初の掴みのお話がとても興味の引かれる話し方でとてもよかった。自分で船を作って重曹とクエン酸の反応を体験できるのも楽しかった。・工作の準備が大変そうでした。でもたくさんのお客さんに楽しんでもらっていて良かったです。クエン酸や重曹はなんなのか、知りたかったです。

準優勝

5班 気圧で遊ぼう



気圧について身近な物を使って、動きが大きい実験だったのでワクワクしながら様子を眺めることができました。また、実験の間に出題されるクイズも予想外な展開になったりと見ていて飽きがこない実験でした。

第3位

3班 空気力で飛ばそう！



安全にできて、それなりに迫力のある空気ロケットを用意できていました。子供たちも喜んでいる様子でした。的あてにしたのも良かったと思います。その場でできない水ロケットを動画にしていたのも良かったです。

::: 学生スタッフ会 OB/OG 紹介 :::



Uta

福岡県 中学校勤務
(数学担当)

岡山理科大学 理学部 応用数学科
(2022 年度卒業)
科ボラ在籍 2019-2021

** 近況・仕事内容 **

在学中に福岡県の教員採用試験に合格し、現在 春日市立中学校で数学を2年生に教えています。担任もしており、毎日忙しさに追われております…また、生徒会も指導しているので放課後もまた時間に追われています。

地元は徳島県なので他県で採用されているので、もの珍しかったこともあります、テレビにも取材されました。

(YouTube にあります。)

https://youtu.be/_nRT6lntOm8

多分その取材で最近の近況が分かると思います。



ちなみにプライベートでは2023年8月に科ボラで出会った人と結婚しています！

** 科ボラの思い出 **

1年生の9月に入会をしました。入った理由が友達に「詩ちゃんの雰囲気合っているから、入ってほしい」と懇願されていたので、当時、サークルも入っていたので**両立できるかなと不安**になっていました。しかし、友達の言う通り雰囲気が合っていたのか普通に続けることができました。**2年生になっていろいろ頑張ろうと思っていた矢先にコロナが始まったので、**ありとあらゆるボランティア活動が中止になっていました。そのためボランティアに参加しようと思ってもできない状況でした…。しかもちょうど始まったタイミングだったので**やるかどうか分からない。でもやる予定なので準備はする。しかし、中止になる。その繰り返しでした。**あの時の悔しさとやり場のない怒りは今でも忘れません。

3年生はサイピア担当でかなりボランティアセンターに入り浸っていました。サイピアの前日は緊張しすぎて寝ていませんでした。それもいい思い出です。引退をしてもよく入り浸っていました。

** 役に立っていること **

1年間サイピア担当でした。その経験は大いに役立っています。**自分たちでブースの企画、責任者の指導、書類の整理など今の仕事に直結しています。**打ち合わせに関してもボランティアの中でも一番人数が多かったので全体に話すことにもどうやったらみんなに伝わるかなどいろいろ考えながら行いました。ブースの内容を考えていた時も**今の授業の内容を考えると似ているな**と思っています。

あと、先輩からの無茶ぶりに答えていたのも役に立っています。学校での急な対応に関しても特に何も困らずできています。

** 後輩へのメッセージ **

予定がない限りボランティアに参加しよう！それに限ります。

高校までと大きく違うのは「自分の判断で」行動する部分が多いので、どうしても情報収集が肝になってきます。私は暇になったらひたすらボランティアセンターに行きました。そうすると何かしらの情報を手にすることができます。ボランティアの募集や、ブースの内容など、行くとくに情報の収穫がありました。

また、個人的な意見ではありますが、**交友の場を広げるべきだ**と思います。今も同級生とは連絡とる人はいます。そこで話すのは「私たちの世代は本当に苦勞をしたね。ボランティアできなかったね。」ということです。そういう体験を社会人になって話することができるのはいいですよ。

[写真は学生時代👉]



※サイピアでのショーの様子(左)
右は「キング」…8月に結婚したお相手！

∴ 学生スタッフ会メンバー紹介 ∴



【会長】登澤 一葉

(かずは)

生命科学部生物科学科 2年生
(静岡県出身)



＊ ＊ 科ボラに入ったキッカケ ＊ ＊

私が科学ボランティアセンター学生スタッフ会に加入したのは、サークルオリエンテーションで私に声をかけてくれた先輩のとても親切な対応、そして先輩方の素敵なお顔を心惹かれたからです。色水の実験を見た時に、小さい頃に行った科学館のような雰囲気を感じました。子供扱いされているというわけではなく、ショーをしていた方の言葉の使い方、問い掛け方がその実験に引き込まれていく力を持っていました。**私もこんな実験をしてみたい、こんな先輩のようにになりたい**と思いました。中学高校時代に演劇部に所属していて、人前に立つことが好きな私にとって、科学ショーや実験・工作を子供たちの前で行うというのは自分の特技を生かせる場として魅力的でした。私は大学に入ってから演劇を続けたいと思っていたものの、大学には演劇部がなく諦めかけていたところにあった科学ボランティアセンターというステージは輝いてみえました。加入してからは科学ショーも工作も様々な内容に挑戦しています。

＊ ＊ 科ボラでの活動 ＊ ＊

今まで行ってきた活動の中でも、科学ショーが自分が得意とするものだと思っています。初めて行ったショーは錯視をテーマにし、子どもたちと錯視工作をしながら目の不思議に関して話をしました。子どもたちだけでなく大人までもが不思議そうな顔をしたり、笑顔を見せたりしていて、とても印象に残っています。その後も、空気・発光・液体窒素・炎色反応・色水・DNAなどをテーマに多くのショーを行ってきました。最近のイベントでは色水をテーマに科学ショーを行いました。紫キャベツの色素を使用して、クエン酸と重曹で酸性アルカリ性の色の変化の実験を子どもたちと共に行いました。**子どもたちが積極的に声を出して意見を言ってくれたのがとても嬉しかったです。**イベント途中でハプニングも多くなりましたが、その時に対応することができたのは、**私が今まで科学ボランティアセンターで経験を積んできたからこそ**だと思っています。また、イベントのスタッフの人数が少ない中でも、子どもたちが楽しめるイベントにできたのは、臨機応変な対応をすることができるスタッフの力だと思います。これからも科学ボランティアセンターの活動に参加し、自分自身の経験を積んでいきたいと思っています。また、この活動で学んだことを糧に、将来役立てて行きたいです。

色水の実験



∴ 秋に開催されたイベントより ∴

科学ボランティアセンター学生スタッフ会が参加した10～11月のイベントの中からいくつかを写真で紹介します！

【10月15日 理大の日 (サイピア)】



【10月22日 そうじゃわくわくフェスティバル】



【10月31日 ポエム保育園】



【11月11日 青少年のための科学の祭典】

